

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 福山市立霞小学校 】

1 実践テーマ	【 I II III IV V 】
2 実施対象者	1学年…2クラス（43名） 2学年…2クラス（37名） 3学年…2クラス（43名） 4学年…1クラス（38名） 5学年…1クラス（36名） 6学年…2クラス（48名） 特別支援学級…2クラス（9名） 地域の方（20名）、保護者の方（20名）
3 展開の形式	（○）教科で実施 教科名（国・社・算・理・音・図・家・体・英・総・道・学） （○）教科以外で実施 （ 教科等外 ）
4 目標（ねらい）	スポーツの意義や価値等に対する関心の向上、障害者理解、ボランティアマインドの育成、国際理解等の育成すべき資質・能力を教科等の関連を図り、全ての教育活動を通してオリンピック・パラリンピック教育を行い、幅広くオリンピック・パラリンピックに関われるようにする。
5 取組内容	【全校「オリンピック講演会」、3年「バレーボール実技指導」】 ・オリンピックの杉山祥子選手をお招きして、オリンピックの価値についてお話しいただいた。オリンピックの精神についても学んだ。地域・保護者の方にも周知し、講演会への参加をうながした。講演会后、3年生を対象にバレーボールの実技指導を行った。 【1年 国語科「カタカナ・漢字」】 ・外国人の名前、外国に由来するもの、外国の地名はカタカナで表記する。漢字は中国から来た文字。（Ⅳ） 【2年 音楽科「拍子を感じてリズムをうとう」】 ・日本のお祭りの音楽に親しむ。（Ⅳ） 【3年 体育科「ティーボール」】 ・フェアプレーの精神とは何かを考えながら活動する。（Ⅰ・Ⅴ） 【4年 総合的な学習の時間「道三川調査隊」】 ・地域の川に対する地域の方々の思いを知り、美しい川を保つために自分たちができることを考えて実践する。（Ⅱ） 【5年 道徳「シンガポールの思い出」】 ・各国の歴史の違いを知り、世界の多様な文化を考える。（Ⅳ） 【6年 体育科「ゴールボール」】 ・パラリンピック競技を体験することで、自分にできるかわり方について考える。（Ⅰ・Ⅲ） 【特別支援学級 社会科「店で働く人々の仕事」】 ・食べ物について、日本と外国との関係をとらえる。（Ⅳ）
6 主な成果	・日々の授業に関してオリンピック・パラリンピック教育の視点を持って実践することができた。 ・オリンピック、パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	・重点的に育成する資質・能力を定め、どの単元で付けていくのかを明確にするために、「年間指導計画」にオリンピック・パラリンピック教育を位置付けた。 ・オリンピック、パラリンピックに関わる校内掲示を作成し、廊下に掲示して児童の興味・関心を高めた。

8 主な課題等	・教科等を中心とした全ての教育活動でオリンピック・パラリンピック教育を位置付けたが、精選しきれていなかった。
9 来年度以降の実践予定	・「年間指導計画」に位置付けたオリンピック・パラリンピック教育や育成する資質・能力を見直し、加筆・修正を図る。 ・校内掲示の一層の充実を図る。行事等とつなげて実践する。